

インタビュー1

加藤鷹に「10年に1人」と呼ばれた本城小百合 「数の子・ミミズ・いそぎんちやくの三刀流よ」

99年にAVデビューすると、名うての男優たちが「なんじやあ、こりゃあー」と驚いた。本城小百合(42)は、想像をはるかに超えるモンスターであった。

「本誌に登場いただくのは約10年ぶりです。本城 そんなになりますか。ご無沙汰していました(笑)。」

「デビューしたのに、あつという間に淫乱系に転身。本城 当然の流れですよオ」

「驚かれました。お前、三刀流の女性器だ。まず大前提として、よく濡れるほう?」



本城小百合は三拍子まわりの美人



本城小百合「うちの妻を犯して下さい」(アイデアポケット)

「デビュー当時のキャッチフレーズが「人間パイアグラ」とは、もともと「スクールメイツ」でアイドル活動をやっていたとは思えないほど強烈!」

「本城 はい、鷹さんは「10年に1人の名器だ」と言ってくれていたみたいです。あのカリスマをして、そこまでの希少価値とは!」

NO.1 決定戦

日本は世界に誇る性文化大国である。江戸時代には春画で「四十八手」がポピュラーになり、同時に「最高の女性器」への研究も進展を見せた。そして今——見てよし、触ってよし、挿れてよしの「名器」を、誕生40年のAVの歴史から検証してみたい。男たちをうならせ、昇天させてきた究極の女陰とは?

「ヨに濡れていて、どうしようって思ったわ。潤沢な愛液は名器への呼び水。では名器の3大要素を併せ持つ部分を、さらにグリグリ聞いちゃおう。本城 イヤン。」

骨をも溶かす肉体の神秘

AV40年 極上の名器



AIKAがヤリマシワゴコに乗った

「始まりですか。本城 中は中で、いろんなところが自在に動くんですよ。俗に「数の子天井」って呼ばれる膣の上部内壁のザラザラした部分。ここがすぐち○チンを刺激するように蠢くんですわね。それは指を入れただけ」

「でもわかる?」

「すから。数の子天井だけでも1万人に1人の確率だけど、それ以上のものも備わっているわけですね。ミミズが1000匹ものたうち、いそぎんちやくが柔らかく波紋を描くように。」

「それは相手の反応を見ながらになるけど、撮影で忘れられない「名器ゆえのエピソード」は?」

NO.1



沙羅樹は7000匹もの何かが蠢く

官能の真髄ワイド



今年の強勁ルキー。北野未奈

「本城 ある程度キャリアのある男優さんだったのに、ものの数分で暴発したんですよ。もちろん、私はまだイッていない。そしたら、「お願いします、もう1回」